

工事写真提出参考様式

建築基準法第7条の5により当該工事を設計図書のとおり実施したことを確認しましたので、建築基準法施行規則第4条第1項第二号又は第4条の8第1項第二号（第4条の4の2又は第4条の11の2において準用する場合を含む）に基づき工事写真を次のとおり提出いたします。

この工事写真は、当該工事にかかるもので事実と相違ありません。

- ☐ 工事監理者自ら写真撮影を行った。
- ☐ 写真又は報告書などにより確認を行った。

工事監理者氏名

（工事監理者が写真に写っている場合は、記名は必要ありません。）

（工事監理者）

【資格】（ ）建築士（ ）登録第 号
【建築士事務所名】（ ）建築士事務所（ ）知事登録第 号

①基礎の配筋の工事終了時【共通】

（ 撮影 年 月 日 ）

配筋写真1

【基礎配筋後の全景】

（ 撮影 年 月 日 ）

配筋写真2

【部分詳細：底盤（形状寸法・鉄筋径・本数・ヒッチ等）】

（ 撮影 年 月 日 ）

配筋写真3

【部分詳細：一般箇所（形状寸法・鉄筋径・本数・ヒッチ等）】

②構造耐力上主要な軸組若しくは耐力壁の工事終了時【木造】

(撮影 年 月 日)

軸組等写真1

【柱、筋かい、耐力壁の全景】

(撮影 年 月 日)

軸組等写真2

【部分詳細：柱、梁及び桁の部材寸法、位置、仕口・継手の状況】

(撮影 年 月 日)

軸組等写真3

【部分詳細：土台、床組、火打材、アンカーボルト、金物等の部材寸法、取付状況】

(撮影 年 月 日)

軸組等写真4

【部分詳細：筋かい・耐力壁の部材寸法、位置、仕口の状況】

③屋根の小屋組の工事終了時【木造】

(撮影 年 月 日)

小屋組写真1

【小屋組の全景】

(撮影 年 月 日)

小屋組写真2

【部分詳細：小屋組、振れ止め等の部材寸法、接合金物の取付状況】

※工事名、撮影年月日、工程名及び撮影部位を表示

※写真のサイズは任意ですが、確認した部位が分かるように撮影してください。下部に小黑板等を入れて撮影してください。

②構造耐力上主要な軸組若しくは耐力壁の工事終了時【鉄骨造】

(撮影 年 月 日)

(撮影 年 月 日)

軸組等写真1

【柱、梁、ブレースの全景】

軸組等写真2

【部分詳細：柱、梁及びブレースの部材寸法、位置、仕口・継手の状況】

③平屋の建て方の工事終了時【鉄骨造】

(撮影 年 月 日)

建て方写真1

【平屋の建て方の全景】

※工事名、撮影年月日、工程名及び撮影部位を表示

※写真のサイズは任意ですが、確認した部位が分かるように撮影してください。下部に小黑板等を入れて撮影してください。

②構造耐力上主要な軸組若しくは耐力壁の工事終了時【鉄筋コンクリート造】

(撮影 年 月 日)

軸組等写真1

【柱、壁、梁の全景】

(撮影 年 月 日)

軸組等写真2

【部分詳細：柱、壁の部材寸法、位置、仕口・継手の状況】

(撮影 年 月 日)

軸組等写真3

【柱、壁の鉄筋径・本数・ピッチ、かぶり厚等】

③平屋の屋根版の工事終了時【鉄筋コンクリート造】

(撮影 年 月 日)

平屋の屋根版写真1

【平屋の屋根版の全景】

(撮影 年 月 日)

平屋の屋根版写真2

【部分詳細：屋根版柱梁の仕口・継手の状況】

平屋の屋根版写真3

【屋根版、柱、梁の鉄筋径・本数・ピッチ、かぶり厚等】

※工事名、撮影年月日、工程名及び撮影部位を表示

※写真のサイズは任意ですが、確認した部位が分かるように撮影してください。下部に小黑板等を入れて撮影してください。

第7号様式（第7条関係）

中間検査の申請に関する工事監理報告書
(構造 _____ 造)

年 月 日

(宛先) 建築主事

工事監理者 () 建築士 () 登録 第 _____ 号
() 建築士事務所 () 登録 第 _____ 号
建築士事務所名 _____
住 所 _____
氏 名 _____
連絡先 電話 () _____

下記建築物の特定工程までの工程については、適切に工事監理を行い、建築基準関係規定に適合することを確認していますので、報告します。

確認申請受付番号	第 _____ 号	建 築 確 認 番 号 年 月 日	第 _____ 号 年 月 日
建 築 主 氏 名			
建 築 場 所			
建 築 物 の 用 途			
※ 受 付 欄	※ 検 査 日 欄		※ 検 査 済 証 欄
	年 月 日		
	検査員名		第 _____ 号
	検査員名		係員印

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
2 ※印欄は、記入しないこと。

工事監理報告シート【共通事項】

確認項目		内 容	検査日付	監理者による自主チェック欄		
				検査方法	結 果	確 認 手直し
				A：目視検査		
				B：計測検査	良・否	良・否
				C：書類検査		
全 体	確認の表示	表示板の設置状況	年 月 日	A	良・否	良・否
	危険の防止	危険防止の措置状況	年 月 日	A	良・否	良・否
集 団 規 定	敷地・配置	敷地の形状・寸法・高低差、がけ等（擁壁含む）の状況	年 月 日	A ・ B	良・否	良・否
		道路との接続の状況	年 月 日	A ・ B	良・否	良・否
		道路の幅員	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		敷地内通路	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		建物の位置・寸法	年 月 日	A ・ B	良・否	良・否
	道路斜線等	緩和規定の適用状況	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		各部分の高さ	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	全般	敷地の形状	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		建ぺい率、容積率	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	共通	かぶり厚さの確保	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
基 礎 工 事 (R C)	使用建築材料の品質	鉄筋の材質（共通）の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		コンクリートの品質（JIS 規格適合、プレキャストコンクリートを除く）の確認	年 月 日	C	良・否	良・否
		コンクリートの圧縮強度試験結果が設計基準強度以上であること	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	支持地盤	支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	基礎形状	基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、偏心等の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	種類・ベース	ベース寸法、主筋の径、本数、位置、偏心による補強等の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	地中ばり	地中ばりの断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手（位置、長さ）、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強等の確認（参考：配筋指針「基礎」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	その他	木造の屋外階段 材料の種類、構造及び防腐措置の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否

※1 検査の方法（A：工事現場で目視により検査する B：工事現場で検査機器等を用いて計測検査する C：工事記録等の書類を検査する）

※2 下線の内容は 特例の適用外の項目です。

工事監理報告シート【木造】

確認項目		内 容	検査日付	監理者による自主チェック欄		
				検査方法	結 果	手直し 確 認
				A：目視検査		
				B：計測検査	良・否	良・否
				C：書類検査		
① 全体	材料の品質確認	・木材及び木材以外の規格品質	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		・節、腐れ等の有無	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・部材の配置、寸法	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
② 軸組工法	接合部	・筋かいの端部における仕口 (筋かいプレートによる接合状況)	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・軸組の柱脚及び柱頭の仕口 (ホルダウ金物等による緊結状況)	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	土台	・基礎との緊結状況の確認 (アンカーボルトの材質、形状、寸法及び配置)	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		・継手又は仕口の接合方法	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	柱	・柱、通し柱の接合状況の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・切り欠きの補強状況の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	はり	・横架材の中央部下側の欠け込みの有無	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	床組	・火打ち材の設置状況の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・床高さの確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		・床下換気孔もしくはねこ土台の設置状況の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	筋かい、耐力壁	・欠込み部の補強の状況	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・耐力壁の配置及び種類の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	小屋組	・火打ち材及び振止めの配置	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	防腐措置等	・地面から1m以内の防腐防蟻措置状況の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否

③ 枠組み壁工法	土台及び基礎	・土台の設置位置の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・基礎との緊結状況の確認（ア ンカーボルトの材質、形状、寸法及 び配置）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	床版	・床根太間隔	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・床版に設ける開口部の補強	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・耐力壁直下の床根太の補強	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・床材の厚さ	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		・床版の各部材相互及び床版の 枠組材と土台または頭つなぎ との緊結	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・転び止めの設置状況	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	耐力壁	・耐力壁の配置（壁量計算書の 提出）	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・相互の距離、耐力壁線により 囲まれた部分の水平投影面積	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		・たて枠相互の間隔	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		・耐力壁の隅角部及び交さ部	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・耐力壁のたて枠と直下の枠組 みとの緊結部	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・頭つなぎの設置状況の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・耐力壁線上に設ける開口部の 幅	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		・各部分の緊結	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	横架材	・床根太、天井根太の中央部下 側の欠け込みの有無	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	小屋組	・たるき相互の間隔	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		・たるきまたはトラスと頭つな ぎ及び上枠との緊結	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・振れ止め	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		・各部分の緊結	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	防腐措置等	・土台と基礎の接する部分の下 地の防水紙（もしくはねこ土 台）	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否

	・土台の防腐処理	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	・地面から1 m以内の防腐防蟻措置状況の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	・外周部の腐朽及びしろあり防止措置	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	・腐食、常時湿潤状態となる部分のさび止め塗装	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
不具合の処理、検査結果及び 工事全般の考察					

※1 検査の方法（A：工事現場で目視により検査する B：工事現場で検査機器等を用いて計測検査する C：工事記録等の書類を検査する）

工事監理報告シート【鉄骨造】

確認項目		内 容	検査日付	監理者による自主チェック欄		
				検査方法	結 果	手直し 確 認
				A：目視検査		
				B：計測検査	良・否	良・否
				C：書類検査		
Ⅰ 鉄骨製作等に係る確認事項	1. 加工工場の選定	建築物の規模等の条件に見合った類別であること	年 月 日	C	良・否	良・否
	2. 材料の品質確認	鋼材、高力ボルトセット、溶接材料の規格・品質等の確認	年 月 日	C	良・否	良・否
	3. 組立精度の確認	開先角度、ルート面、ルートギャップ、くい違い等の精度	年 月 日	C	良・否	良・否
	4. 製品検査1（部材の寸法精度測定）	部材の寸法精度 （参考：JASS6、鉄骨精度測定指針）	年 月 日	C	良・否	良・否
	5. 高力ボルト接合部の処理	高力ボルト接合部の摩擦接合部面の処理、ボルト孔の径・ピッチ等	年 月 日	C	良・否	良・否
	6. 製品検査2（溶接接合部の品質（※2））	外観検査及び超音波探傷検査結果（参考：JASS6、鉄骨精度測定指針、UT規準（※5））	年 月 日	C	良・否	良・否
Ⅱ 現場検査事項	①全体	1. 加工工場の種別	表示板による加工工場のグレード確認	年 月 日	A ・ C	良・否
		2. 材料の品質規格確認	a) 鋼材等の品質規格証明書と現物との照合	年 月 日	A ・ C	良・否
			b) 溶接材料の規格と鋼材の組み合わせ適否	年 月 日	A ・ C	良・否
		3. 部材の配置	柱、はり、ブレース、床版等の配置（確認添付図書との照合）	年 月 日	A ・ C	良・否
		4. 部材の寸法・形状	柱、はり、ブレース、床版等の寸法・形状（確認添付図書との照合）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否
		5. 建方精度	架構の建方精度 （参考：JASS6、鉄骨精度測定指針）	年 月 日	A ・ C	良・否

	② 溶接接合部	1. 工場溶接部分の外観・形状	a) 溶接継目の種類 (突合せ溶接・隅肉溶接)	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
			b) 溶接継目のくい違い	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
			c) アンダーカット、へこみ等の断面欠損	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
			d) 割れ	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
			e) その他の溶接部の外観・形状 (参考：JASS6、鉄骨精度測定指針)	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		2. 現場溶接部分の組立精度の確認(※4)	開先角度、ルート面、ルートギャップ、くい違い等の精度	年 月 日	C	良・否	良・否
		3. 現場溶接部分の製品検査(※4)	外観検査及び超音波探傷検査結果(参考：JASS6、鉄骨精度測定指針、UT 規準(※5))	年 月 日	C	良・否	良・否
		4. 現場溶接部分の外観・形状(※4)	a) 現場溶接部の部位	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
			b) 溶接継目の種類 (突合せ溶接・隅肉溶接)	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
			c) 溶接継目のくい違い	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
			d) アンダーカット等の断面欠損	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
			e) 割れ	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
			f) その他の溶接部の外観・形状(参考：JASS6、鉄骨精度測定指針)	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
Ⅱ 現場検査事項	③ ボルト接合部(※3)	1. トルシア形ボルト	a) 現場受入検査(トルク係数値確認・導入)	年 月 日	C	良・否	良・否
			b) ボルトの径、本数、スプライス数、ピッチ、縁あき	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
			c) 締付状態の確認(肌すき・ピンテール破断・マーキングの状態)	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		2. JIS 形六角ボルト	a) 締付機器の調整、現場受入検査 (導入張力確認試験)	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否

		b) ボルトの径、本数、スプライス数、ピッチ、縁あき	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		c) 締付状態の確認（肌すき・・・マーキングの状態）	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	④ブレース接合部	ブレース接合部の形状・板厚・材質・補剛材等	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	⑤柱脚接合部	a) 柱脚接合工法の確認（認定工→ ）	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		b) アンカーボルトの保持・埋込方法、ベースプレート の材質・形状・板厚	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		c) アンカーボルトの材質・径・本数及び配置とナットの 高さ	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		d) アンカーボルトの締付状態	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		e) スタッドボルトの径・本数・配置	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	⑥床スラブ接合部	a) 床構造の形式（合成スラブ等 ）	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		b) シヤーコネクタ（頭付きスタッド）の施工状況・ 検査結果	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	⑦帳壁等の接合部	緊結金物の取付状況	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
Ⅲ 不具合の処理、検査結果及び工事全般の考察（※6）		(溶接・圧接)				

※1 検査の方法（A：工事現場で目視により検査する B：工事現場で検査機器等を用いて計測検査する C：工事記録等の書類を検査する）

※2 工場で溶接された部分

※3 当該工事で構造耐力上主要な部分の接合に用いる高力ボルト等を選択して記入する

※4 現場溶接がある場合のみ記入

※5 UT 規準：日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準」

※6 鋼材等の金属材料の溶接又は圧接部分に係る内部欠陥の検査、強度検査等の確認については、当該部分に係る検査を行った者の氏名及び資格並びに当該検査に係るサンプル数及びその結果を記載してください。なお、記載すべき事項を含む報告書を別に添付すれば、この限りではありません。

工事監理報告シート【鉄筋コンクリート造】

確認項目		内 容	検査日付	監理者による自主チェック欄		
				検査方法	結 果	手直し 確 認
				A：目視検査	良・否	良・否
				B：計測検査		
				C：書類検査		
①全体	共通	a) 柱、はり、壁、スラブの位置の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		b) かぶり厚さの確保	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	使用建築材料の品質	c) 鉄筋の材質（共通）の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		d) コンクリートの品質（JIS 規格適合、プレキャストコンクリートを除く）の確認	年 月 日	C	良・否	良・否
		e) コンクリートの圧縮強度試験結果が設計基準強度以上であること	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
②地盤・基礎	支持地盤	a) 支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
	基礎形状	b) 基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、偏心等の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	種類・ベース	c) ベース寸法、主筋の径、本数、位置、偏心による補強等の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	地中ばり	d) 地中ばりの断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手（位置、長さ）、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強等の確認（参考：配筋指針「基礎」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
③柱	一般階主筋	a) 柱径寸法、主筋の径、本数、配置（方向）、偏心による補強等の確認（参考：配筋指針「基礎ばり」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		b) 2段筋の位置（間隔）の確認（参考 JASS5「鉄筋間隔・あきの最小寸法」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	最上階主筋	c) ・柱頭鉄筋の止まり高さ、主筋の出隅のフックの確認 ・最上階の主筋のはりに対する定着確認（参考：配筋指針「柱頭（最上階）の配筋」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	最下階主筋	d) 最下階の主筋の基礎に対する定着確認（参考：配筋指針「柱脚（最下階）の配筋」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	定着・継手	e) 主筋の継手位置の確認（参考：JASS5「鉄筋間隔・あきの最小寸法」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		f) ふかしの大きさによる配筋補強確認（参考：配筋指針「柱・梁の増打ちコンクリート補強筋」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否

	帯筋	g) 鉄筋径、間隔、本数（副帯筋共）及び形状の確認（参考：配筋指針「帯筋、副帯筋の一般形状」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		h) 主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強の確認（参考：配筋指針「柱筋の絞り位置と絞り方」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		i) 仕口部分の帯筋の配置確認（参考：配筋指針「帯筋の配筋間隔について」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		j) 第一帯筋と柱頭拘束帯筋の位置確認（参考：配筋指針「帯筋の配筋間隔について」等）	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否
		k) 帯筋のフック形状、あそび及び結束の確認（参考：配筋指針「帯筋の一般形状」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
④ はり	はり主筋	a) はり断面寸法、はり主筋の径、本数及び位置の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		b) 中吊り筋の間隔の確保、長さ確認（参考：JASS5「鉄筋間隔・あきの最小寸法」及び配筋指針「はり端部・中央部の配筋」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	定着・継手	c) はり筋の定着長さ、位置確認（参考：JASS5「梁筋の定着」、RC 規 準「仕口への定着」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		d) 重ね継手の位置と長さ確認（参考：JASS5「梁筋の継手の位置」「鉄筋の重ね継手の長さ」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		e) はり筋出隅部の末端フック確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	ふかし貫通孔補強	f) ふかしの補強方法が適切か、貫通孔補強筋の確認（評定品の仕様確認）（参考：配筋指針「柱・梁打増しコンクリート補強筋」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	あばら筋	g) あばら筋の径、本数（副あばら筋共）とピッチの確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		h) あばら筋のフック形状、あそび及び結束の確認（参考：配筋指針「あばら筋の形状」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
	片持ばり 小ばり	i) 片持ばり主筋の定着、あばら筋位置確認（参考：配筋指針「片持ちばりの配筋」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		j) 小ばり配筋の位置と定着確認（参考：配筋指針「小ばりの端部・中央部の配筋」「定着」等）	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
⑤ スラブ	スラブ筋	a) スラブ厚寸法、鉄筋のピッチと径の確認	年 月 日	A ・ B ・ C	良・否	良・否
		b) 主筋配置（短辺・長辺とバンド配筋）と支持条件の確認	年 月 日	A ・ C	良・否	良・否

	定着・重ね継手	c) 定着の長さ与方法（はり定着、隣接スラブ定着、段差スラブ定着）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
		d) 片持スラブの定着と上端筋位置確保（先端壁有無）（参考：配筋指針「帯筋の配筋間隔について」等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
		e) 継手の位置と長さ（参考：配筋指針「床スラブ継手位置等」等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
	補強筋等	f) 床スラブの出入隅部の補強（参考：配筋指針「床スラブに関するその他の事項」等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
		g) 開口部補強配筋確認（参考：RC 規準等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
		h) 階段部配筋と補強筋確認（参考：配筋指針「階段」等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
		i) 設備配管による補強は考慮されているか	年 月 日	A・C	良・否	良・否
⑥ 壁	壁筋	a) 壁厚寸法、鉄筋のピッチと径の位置（土圧壁主筋・階段受け筋）の確認	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
	定着・重ね継手	b) 定着確認（はり、柱、スラブ、壁定着）（参考：JASS5 及び配筋指針「壁筋の定着」等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
		c) 重ね継手の位置と長さの確認（参考：JASS5 及び配筋指針「壁筋の継手の位置」等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
	補強筋等	d) 開口補強配筋確認（参考：配筋指針「壁開口補強」等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
		e) スリット（完全・部分）の位置、形状及び配筋確認（参考：構造規定「スリットの配置及び詳細」等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
⑦ その他	設備配管等	a) 設備配線管（CD 管等）の配置確認	年 月 日	A・C	良・否	良・否
	ガス圧接継手	b) 形状（参考：JASS5「ガス圧接継手」等）	年 月 日	A・C	良・否	良・否
		c) 強度確認（参考：JASS5「ガス圧接継手」等）	年 月 日	C	良・否	良・否
	特殊鉄筋継手	d) 認定、評定工法の確認	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
	型枠並びに既存打設部分状況確認	e) 型枠及び支柱の締付け、清掃状況確認（参考：JASS5「型枠の検査」等）	年 月 日	A・C	良・否	良・否
		f) ジャンカ処理、型枠材等木片撤去補修確認（参考：JASS5「不具合とその修理方法の例」等）	年 月 日	A・B・C	良・否	良・否
		g) 基礎、柱、はり、床版、壁体寸法の確認	年 月 日	B・C	良・否	良・否
		h) 型枠支柱存置期間の確認	年 月 日	A・C	良・否	良・否

		i) コンクリート打設後の養生 (参考：JASS5「養生」等)	年 月 日	A • C	良・否	良・否
		d) コンクリートの調合及び圧縮強度の確認 (参考：JASS5「調合」等)	年 月 日	A • C	良・否	良・否
⑧	不具合の処置及び検査結果の考察 (※2)	(四週圧縮強度) (塩化物量) (アルカリ骨材反応) (溶接・圧接)				

※1 検査の方法 (A：工事現場で目視により検査する B：工事現場で検査機器等を用いて計測検査する C：工事記録等の書類を検査する)

※2 コンクリートについては、四週圧縮強度、塩化物量、アルカリ骨材反応等の試験又は検査を行った者、試験等に係るサンプル数及び試験等の結果について記載してください。鋼材等の金属材料の溶接又は圧接部分に係る内部欠陥の検査、強度検査等の確認については、当該部分に係る検査を行った者の氏名及び資格並びに当該検査に係るサンプル数及びその結果を記載してください。なお、記載すべき事項を含む報告書を別に添付すれば、この限りではありません。